



同時発表

<http://hachioji-school.ed.jp/sande/>

八王子市立散田小学校

令和6年7月23日

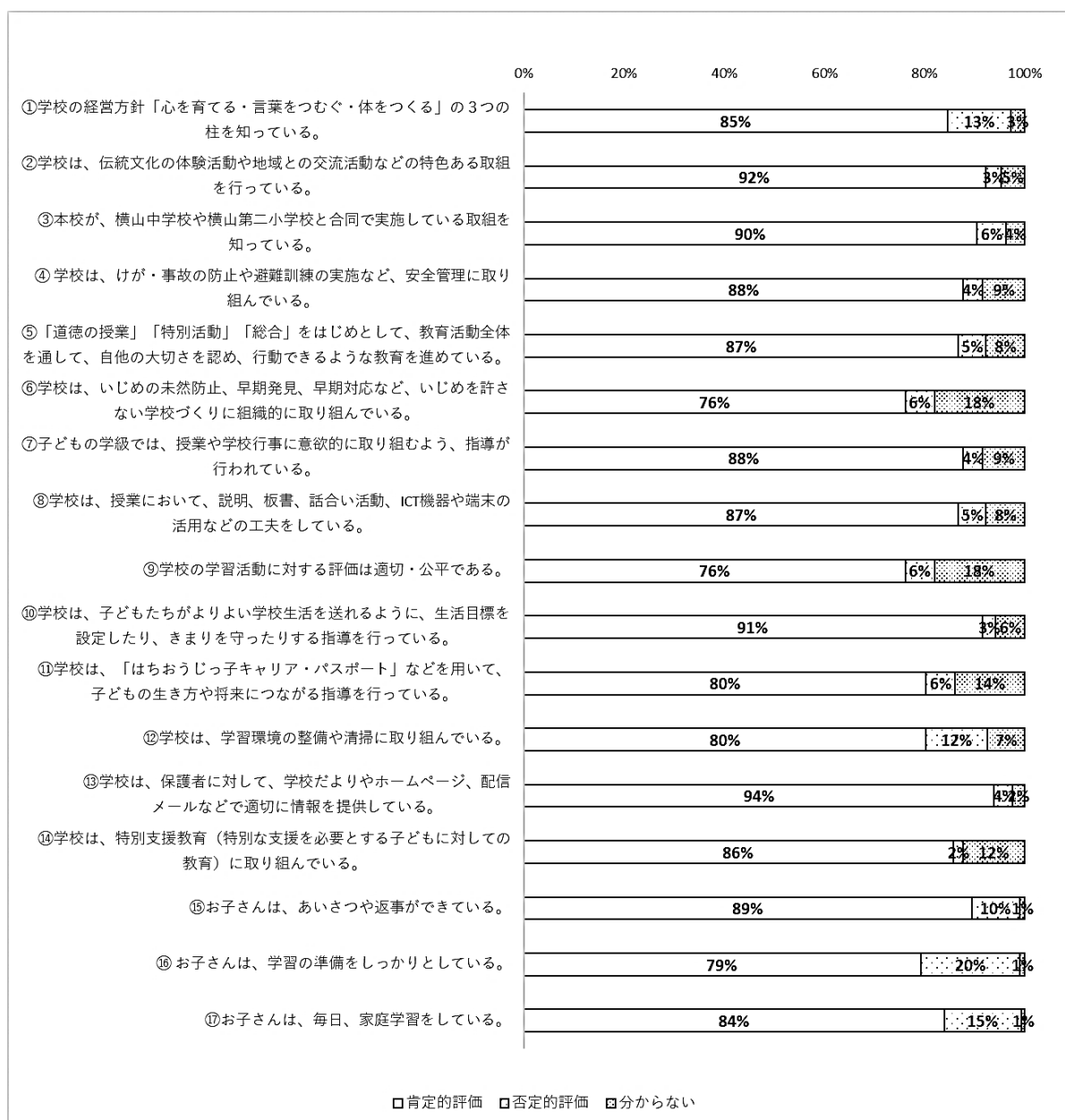
臨時号



学校評価 保護者アンケート（第1回）結果の概要

校長 島田 学

6月に学校評価保護者アンケート（第1回）を実施いたしました。回答数は293通（回収率54%）でした。アンケートへのご協力ありがとうございます。結果の概要についてお知らせいたします。



【学校運営全般について】

設問①から設問③について、学校経営方針や学校の特色、小中一貫教育の取組について高い関心をもっていただき、ありがとうございます。学校として大切にしたいことをこれからも発信してまいります。

設問⑪「キャリア教育」については、昨年度より肯定的な回答割合が増えているものの、低学年の保護者の方を中心に「わからない」の回答割合が多くなりました。

○「キャリアパスポート」について

八王子市の小中学校では、行事や学期末を節目に子供たちが自分の成長を記録し、自分を見つめたり振り返ったりしながら自分の変化や成長を実感し、更に主体的に学習に取り組み、自己実現へとつなげていくためのツールです。小中9年間を通してこの取組を積み上げていくようにしております。学期末に「あゆみ」とともに返却

いたしますので、コメントの記入など、保護者の皆様のご協力をお願いします。

【心を育てる】

設問⑤、設問⑩については昨年に引き続き肯定的な回答を多くいただきました。一方で、設問⑥「いじめの対応」については、肯定的な回答が80%を切り、「分からない」という回答も18%に上りました。

設問⑮については、昨年に続き、肯定的な回答が90%近くとなっております。保護者・地域の皆様のご協力のおかげです。小中合同あいさつ運動も今年度は年間を通して行っておりますので、これからも気軽にあいさつができる雰囲気をつくっていきたいです。

○「いじめの防止」について

散田小学校では、ふれあい月間での全員面談やアンケートなど定期的な取組の他に、日頃の児童の状況観察やトラブル等の早期対応により、いじめの兆候がないかの見守りを強化しております。それらの情報を週1回の「いじめ対策委員会」で共有し、必要な場合はその方策と役割分担を行い、ご家庭と連携して対応にあたるようにしております。本校でのいじめの認知件数は減少傾向にあります。潜在化するケースもありますので、「見守りシート」を活用などご家庭と連携しながら、アンテナを張っていききたいと思います。

【言葉をつむぐ】

設問⑦、設問⑧については、昨年に引き続き、肯定的な回答が85%を超えております。「主体的に学習する態度」を育成するための授業改善を今後もつづけてまいります。

設問⑨「学習の評価」については、「わからない」が18%にのびました。

○「学習の評価」について

学習の評価は、単純なランク付けではなく、子供たちが自身が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするとともに、教員が指導の改善を図るために行うものです。よって、学習の評価は「あゆみ」だけでなく、日頃からの子どもたちとのやり取り、ノートや作品へのコメントなど、多岐にわたって行っております。「あゆみ」に記載されている「評定」も、ワークテストや実技テスト一発だけで決まるものではなく、日頃の学習の様子を反映しております。

学習の評価の内容は非常に多岐にわたりますので、次の資料も参考にいただければと思います。

(国立教育政策研究所の教員向けのものですが…)



【体をつくる】

設問④につきましては、昨年に引き続き、85%以上の肯定的な回答をいただきました。交通事故や災害だけでなく、熱中症の防止など、安全に過ごすためのリテラシーはますます多岐にわたり、重要になってきています。また、自分の体や健康について理解することもこれに密接にかかわってきますので、今後も指導を工夫していきたいと思います。

【学校の環境整備の状況について】

設問⑫については、昨年に引き続き、80%の肯定的な回答をいただいておりますが、例年、様々なご意見もいただいております。

施設や設備の老朽化が甚だしいですが、トイレについては洋式化が完了しました。

今年度、八王子市の学校照明・屋内水栓省エネ化事業（ESCO 事業）により、各階の流しを自動水栓化（一部、通常の蛇口を残しております）しました。また、児童が使用する教室、廊下について全てLED照明化する工事が始まり、夏季休業中に完了する予定です。照度が改善されることを期待しております。

さらに、来年度に向けて学校体育館にエアコンが設置されることとなりました。学校給食保護者負担の無償化とともに、八王子市が教育環境の整備を可能な限り前進させていることをご理解いただければ幸いです。

ホームページ等でもお知らせしておりますように、汚れやすい校舎ですが、子どもたちは清掃活動をととてもよくがんばっています。「古いからからこそ大切に使う」という気持ちが育ってきていることはとてもうれしく思います。教職員の意識もより高めていきたいと思います。

以上、アンケート結果の概要をお知らせいたしました。保護者の皆様からのコメントにつきましては、紙面の都合もあり、一つ一つに回答させていただくことができませんが、よろしければ、校長に声をかけていただければと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



番外編 運動会の実施方法について

運動会のアンケート結果について教えてほしいというご要望がございましたので、この場をお借りして概要をお知らせいたします。回収は約160通でした。なお、アンケートは選択式ではなく、ほぼ自由記述の形式で実施しました。

- ・「午前開催、昼食なし」がよいと記述された方は、108件で、理由として「児童の体力」「熱中症防止」「弁当等準備の負担」などが挙げられていました。一方で「昼食ありで全日開催がよい」と記述された方は6件でした。先の108件の中でも「本当なら…」「悩ましい…」などの記述も7件ございました。
- ・「団体競技の実施など、種目数を増やしてほしい」という記述は14件ございました。
- ・「終了時刻が昨年度より遅かった」「競技間のインターバルが長かった」などの記述が10件程度ございました。計時の結果によると、種目数等は同じでしたが、昨年度より25分程度、終了が遅くなりました。

○午前開催について

コロナ禍をきっかけに学校行事の見直しが進みました。それは「教員の負担軽減」という側面もありますが、持続可能な実施方法を考えていくことでもありました。その中で量を減らして質を向上させることに有効性にも気付きました。アンケートにも「子どもたちの体力や集中力が持続できる時間で…」という記述が複数ありました。(残念ながら、終了近く、一部の子どもたちの参観態度がよくなかったとのご指摘も複数の方からいただいております)

また、今年度は、比較的涼しい天気の中で実施することができましたが、実施時間が長時間になるほど熱中症のリスクは高くなります。

これらのことを踏まえて、来年度以降も午前開催・昼食なしでの実施を考えております。

○種目数について

午前開催を前提とすると、種目数を増やすことは難しいです。また、練習時間の確保も難しい状況にあります。※1

先ほどと重なりますが、種目数を減らす分、表現種目に子どもたちの発想を取り入れるなど、様々な工夫をするようにしております。

種目数を減らした分、子どもたちが活躍できる場を設定したいとの思いで高学年の係活動を充実させる工夫をしました。準備係では、次種目の準備のかなりを児童に任せました。結果的にインターバルが長くなりましたが、アンケートでは「高学年の子どもたちの仕事ぶりがすばらしかった」という記述も多くあり、ボランティアの活用も含め、運営方法を工夫していきたいと思っております。

○参観のルール・マナーについて

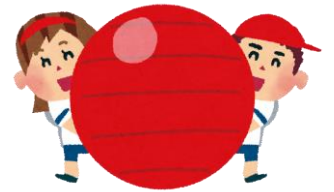
事前にお願ひした参観のルールについては、ほとんどの保護者の方に守っていただき、感謝申し上げます。子どもたちもその状況を誇らしく感じると思います。すばらしいことです。

今年度は、保護者の以外の方(親戚の方など)にも多数ご来場いただきました。その中で、一部の方がルール(特に前列は競技を行っている学年が優先であること)を守っていただけていないというご指摘も複数ありました。ご家族のご親戚やお知り合いの方がいらっしゃる場合は、参観のルールについて、保護者の皆様からも周知していただけますと助かります。

立ち入れない区画など、分かりにくい点もあったかと思ひます。「全てロープを張ってほしい」というご意見もありましたが、災害時や緊急時の避難の際、ロープが大きな障害となり得ますので、最低限の使用とし、できるだけ分かりやすい表示の工夫をしていきたいと思ひます。

折りたたみイスの使用については、推奨はしておりません。ただし、体調等優れない方もいらっしゃると思ひます。その場合はできるだけ「思いやり席」や「休憩所(体育館)」をご利用ください。どうしても折りたたみイスを使用する必要がある場合は、周りの方のご迷惑とならないようにご配慮ください。同様に日傘につきましても、使う場所によっては他の方の迷惑となりますので、ご配慮いただきますようお願いいたします。

運動会はアトラクションではなく、準備や練習から連なる授業の一つです。たくさんの保護者の方から子どもたちの競技や演技について高く評価していただきましたが、来年度もプロセスを大切にしつつ、子どもたちの力が存分に発揮できるよう、学校として努力してまいります。引き続き、皆様のご協力のほどお願い申し上げます。



※1 学校の授業時数について

授業時数は学習指導要領に示された標準時数(6年生なら年間1015時間)を満たすように設定する必要があります。以前は多いときで50時間程度の余剰時数を設定していましたが、近年、文科省から大幅に超過しないように指導があり、八王子市では上限を18時間としています。

これを言い換えると、「全教科の1年間の内容を+18時間の余裕の中で終わらせる必要がある」という意味になります。また、平日に3日間学級閉鎖を行うとこの余剰時間はほぼ消化されてしまいます。